



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



九州大学
人系協働研究・教育
コモンズ

人文科学研究院／人間環境学研究院／法学研究院／経済学研究院 九州大学人系協働研究・教育コモンズ 第42弾企画
九州大学人系協働研究・教育コモンズシンポジウム

海洋プラスチック汚染の現状と 解決に向けた学術的貢献

持続可能な社会に向けた学際的アプローチ

「マイクロプラスチック等による 海洋プラスチック汚染」

講演者 **磯辺 篤彦**

九州大学 応用力学研究所海洋プラスチック研究センター 教授

報告題目

指定討論

中山 裕文 九州大学 工学研究院 教授

早渕 百合子 九州大学 洋上風力研究教育センター 教授

大嶋 雄治 九州大学名誉教授
世界海洋プラスチックプランニングセンター・センター長

小島 立 九州大学 法学研究院 教授

司会

藤井 秀道 九州大学 経済学研究院 教授

近年、海洋環境のみならず生態系や人体への影響が懸念されるプラスチック汚染に対し、国際社会の動きが加速しています。国連環境総会（UNEA）での決議を契機に、プラスチックの生産から設計、廃棄に至る「ライフサイクル全体」を対象とした法的拘束力のある国際条約（国際プラスチック条約）の策定に向けた政府間交渉委員会での議論が進むなど、世界的なルールの構築に向けた取り組みが本格化しています。こうした地球規模の課題に対し、九州大学においても自然科学分野及び人文社会科学分野において精力的に研究が進められています。

九州大学では海洋プラスチック汚染の動態解明から、生態系への影響評価、代替素材の開発、社会経済的な対策まで、多様な分野の研究者による協働研究の活性化を目指しています。本シンポジウムでは、世界の海洋マイクロプラスチック研究を牽引する磯辺篤彦教授（九州大学応用力学研究所）が登壇し、最新の国際動向を踏まえた海洋プラスチック汚染の現状と、根本的な課題解決に向けた学術的貢献について説明します。加えて、九州大学の多様な関連研究者へのインタビュー調査を通じて取りまとめを進めている「九大発 環境プラスチック提言」について紹介いたします。皆さまの積極的な参加をお待ちしています。

2026 **10/7 水** 15:00-17:30
受付開始 14:30 参加費無料

会場参加 または オンライン(Zoom)

会場

九州大学 稲盛財団記念館 稲盛ホール
福岡市西区元岡744 (九州大学 伊都キャンパス内)

参加申込み

申込サイトより

下記情報をお知らせください

①氏名 ②所属 ③メールアドレス

https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_42.html



【お問合せ】九州大学 人系協働研究・教育コモンズ Email: enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

【主催】九州大学人系協働研究・教育コモンズ 【協力機関】九州大学 未来社会デザイン統括本部、九州大学 応用力学研究所 海洋プラスチック研究センター